

# 資料 1

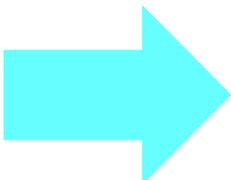
流域治水プロジェクトの構成員の拡充について

- 淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進することが重要。
- 地域の防災リーダーなどが協議会(分会)に参画いただき地域の安全確保の実現に向けたワークショップや意見交換会の開催等、流域治水への住民参画の取組を引き続き拡大していくため、構成員を拡充。

## 猪名川分会 拡充メンバー

- ◆ 構成員の拡充 猪名川河川レンジャー（防災分野担当）
- ◆ 協議会での役割 日頃から河川レンジャーとして活動されている中で、防災・減災に関連した活動内容に関する情報提供、行政に期待する課題・提案を行っていただくとともに、地域住民への情報発信など幅広い取組を実施。

※河川レンジャー：河川レンジャーは、自己が持つ専門分野を基礎に、河川に関わる分野をできるだけ幅広くとらえ、第一に住民および住民活動団体等を行政との間に介在して、住民が川に関心を持てる活動や人と川を繋げていくことを目的とした活動を行い、防災・維持管理・河川利用・環境保全・水辺分科の分野について貢献する。河川レンジャー等の身分は、原則として、猪名川河川事務所が猪名川河川レンジャー制度に基づき支援する特定の住民ボランティアとして位置づける。（猪名川河川レンジャー運用要領より）



今後も引き続き、協議会構成員の拡充を図る。